

分担金・拠出金の名称	経済協力開発機構（OECD）開発関連拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名	経済協力開発機構（OECD）開発協力委員会（DAC）		
国際機関の概要	DACは援助政策を議論するOECDの委員会。(i)持続可能な開発の資金を監視、評価、報告、促進する（援助統計）、(ii)開発協力の政策と実施をレビューする（援助審査）、(iii)開発援助の質と効果の向上のため、分析、ガイダンス、参考事例を提供する（援助の質の向上）、(iv)変化するグローバルな開発構造を分析し、その形成に貢献する、(v)OECDの他の政策コミュニティと連携し、グローバルな公共財と開発のための政策一貫性の考えを普及する、(vi)DACの活動の関連や包摂性を確保するよう、非加盟国、国際機関、民間セクター、市民社会代表を関与させることを目的とする。我が国、米、独、仏、英、加、豪、EUはじめ29のメンバーから構成される。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1.（1）成果目標：我が国重要外交開発課題の遂行のための国際的な援助潮流の形成とパートナーシップの強化 活動指標：DACの活動を通じた我が国重要外交施策への貢献、DACが有するネットワークを活用した新興国・途上国との連携		DACは援助の実施方法等に関する国際的な潮流を決めるフォーラムであり、ODAの現代化の議論等において我が国の考えを反映させることができた。伝統的なドナー国のみならず、開発援助の主体化に伴い、新興ドナーとのネットワークの強化を実施している。DACを通じて、我が国の開発援助政策に係る優良事例を国際社会に発信した。2014年に実施された我が国に対する開発協力相互レビューの結果を、我が国の政策に活用している。DACは、援助に関する国際的ルールの設定やコミットメントの実施を促進し、また我が国が重視する開発効果向上、新興ドナーも参画する三角協力等の取組を推進するフォーラムとして貢献している。 具体的には、2015年のOECD閣僚理事会において我が国から質の高いインフラ投資を提起し、インフラ投資や民間資金の動員について議論した。また2015年5月に中根外務大臣政務官がOECDを訪問し、OECD事務総長、DAC議長やOECD各国大使に対し、我が国の開発協力大綱や質の高いインフラ投資の取組を説明し、理解と支持を求めた。グリア事務総長は毎年訪日している。	
（2）成果目標：DACの意思決定における我が国のプレゼンスの強化 活動指標：DACにおける加盟国としてのプレゼンスの確保		我が国は1995年以来、毎年DACに拠出することにより、援助効果向上、新興ドナー等へのアウトリーチ、脆弱国、及び民間セクターとの連携等、我が国の優先分野におけるDACの活動に積極的に参画している。平成26年度予算では、新興ドナーも含む多様な主体へのアウトリーチ活動、DAC統計によるポスト2015年開発目標の支援に関するプロジェクトに拠出した。 我が国は2013-14年にDAC副議長として、また2014年以降にDAC内の統計作業部会副議長を務め、2015年中にDACのアウトリーチ活動のグローバル・パートナーシップ運営委員に就任予定であり、DACの意思決定に我が国の政策や考えを反映するためのプレゼンスを確保している。	
（3）成果目標：効率的な組織・財政マネジメントの実現 活動指標：DAC事務局による具体的な組織・財政マネジメント向上努力		DAC事務局（DCD）は、ビューロー会合（DCD局長、DAC副議長3名、事務局）以外に、各DAC下部組織（統計作業部会等）に各国DAC代表から選出されるDACファシリテーターを置き、DACの動向を全体的に把握し、ファシリテーター会合の開催など加盟国に共有できるような組織マネジメントの工夫を行っている。ソールハイムDAC議長は、DACの効率的運営を図るべく、2カ年作業予算計画（PWB）の活動項目のスリム化（2013-14年PWBは13項目であったが、2015-16年PWBは9項目に絞り込んだ）を行い、効率的な業務実施に努めている。 我が国はDAC副議長（2012年11月-2014年7月）として、ビューロー会合に深く関与。DAC各種会合における適切な議題設定、ファシリテーター会合における情報共有の促進、及び他の下部会合との効率的なスケジュール調整等、事務局の組織マネジメントの改善に貢献。	
（4）成果目標：OECDにおける邦人職員増強を図る 活動指標：邦人職員数の増強		DACの事務局であるDCDに占める邦人職員の割合は2014年12月末時点で2.86％（邦人職員2名、DCD全体職員数70名）	
2. PDCAサイクルの確保		DACでは以下のとおりPDCAサイクルを確保。 ①Plan:DACのPWBをふまえ、我が国の政策（「経済財政運営と改革の基本方針」「ODA大綱」等）に照らし予算要求。②Do:我が国の拠出金支払い。DACによる予算案執行。OECD代表部によるDACの運営・活動のモニタリング。③Check:内部監査（事務総長官房内部監査・評価部が担当、DACの詳細評価も右部署が担当）、外部監査（現在、仏の会計検査院がOECDの外部監査機関）による監査報告書により成果を評価。④Act:DAC加盟国として発言し意思決定を行うDAC定例会合を通じ、必要に応じて改善を提言。DACとして意思決定できれば、次期PWBに反映可能。また、DAC事務局であるDCDとの個別協議を実施することは可能。	
担当課・室名	国際協力局 開発協力企画室		